



1. ビデオ視聴「それでもお金借りますか、多重債務の落とし穴」(プロローグと事例1のみ)



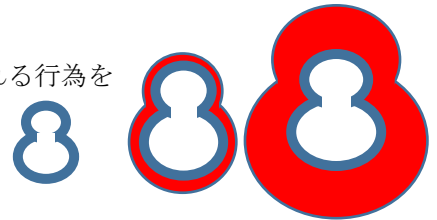
〈知らない言葉・疑問など〉

〈感想〉

2. 多重債務について

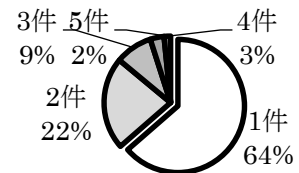
①多重債務とは？

・すでにある借金の返済に充てるために 他の金融業者から借り入れる行為を繰り返し、利息の支払いもかさんで借金が雪だるま式に増え続ける状態にあること。



②消費者金融の利用状況

消費者金融の利用者	1, 194	万人
5社以上の利用者		万人
3ヶ月以上の延滞者		万人

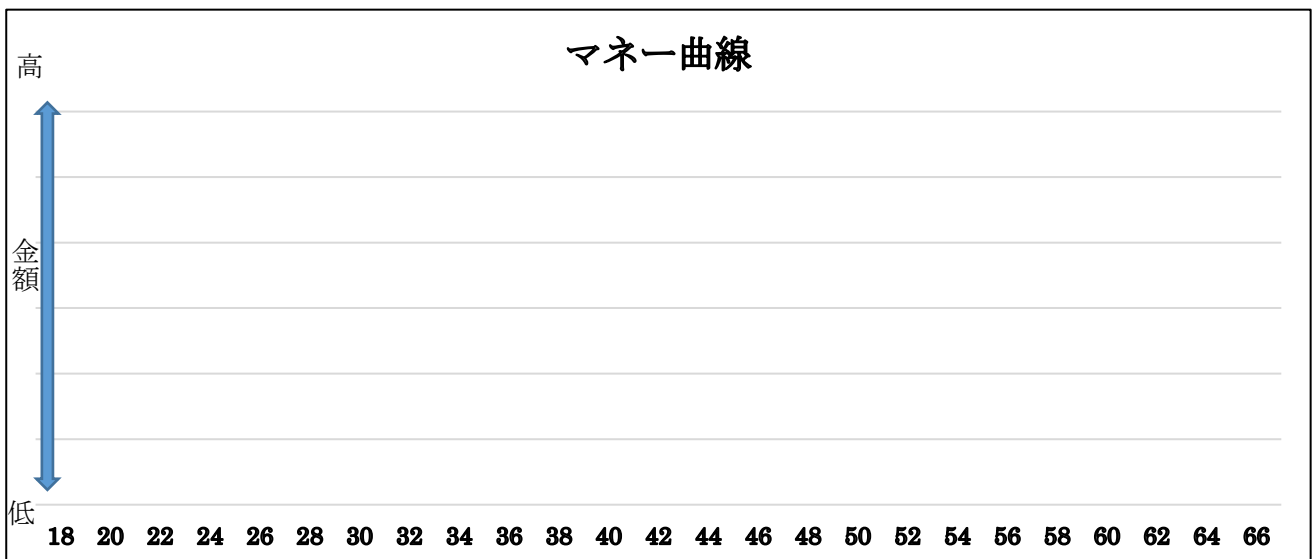


※日本信用情報機構(平成26年3月末現在)

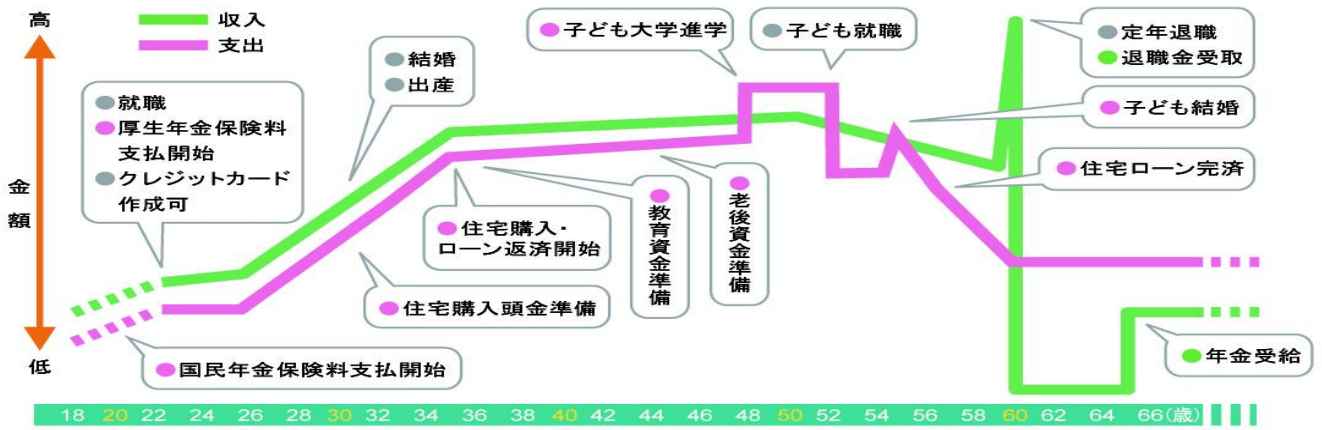
3. 一生涯のうちに、お金が必要(お金を借りる必要)になる時とは？

•	•	•
•	•	•
•	•	•

4. 将来を予想して、収入と支出の曲線を描いてみよう。



5. 参考資料

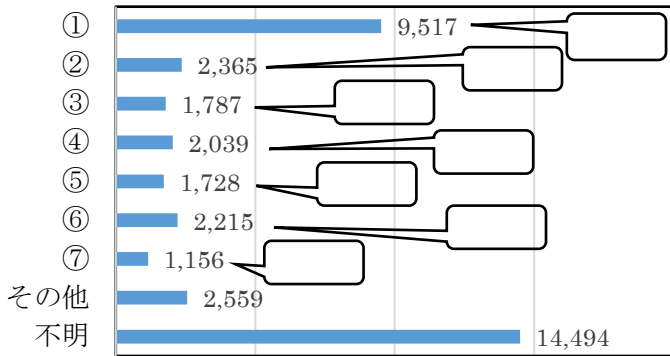


6. 多重債務者の事例をもとに、多重債務の現状を知ろう。

金融庁「地方自治体及び財務局等における多重債務相談の状況について」

【多重債務者が借金をしたきっかけ】(複数回答)(人)

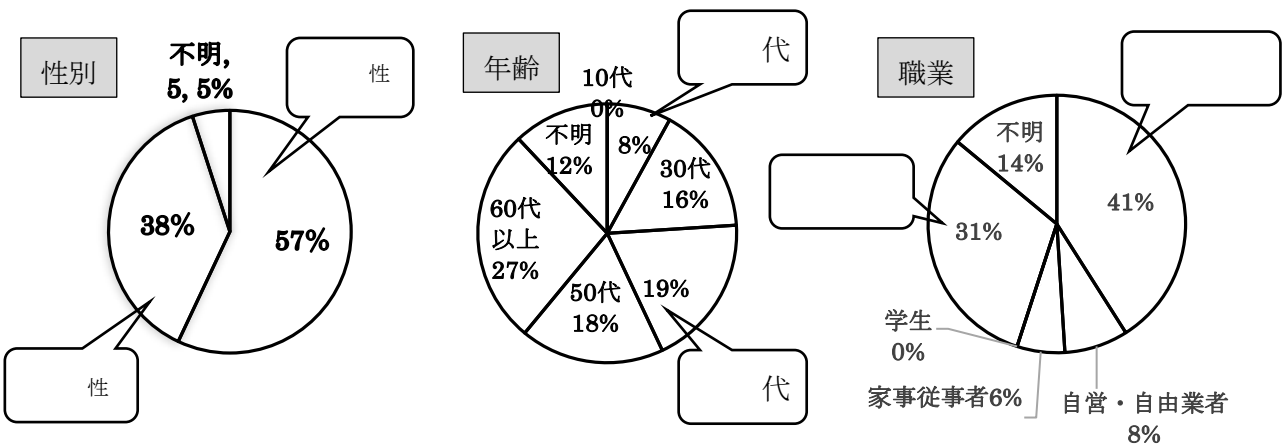
※平成23年4月1日～平成23年9月30日まで



- A. 住宅ローンとの借金の返済
- B. 商品・サービス購入
- C. 本人、家族の病気・けが
- D. 低収入・収入の減少等
(生活費・教育費等の不足)
- E. ギャンブル・遊興費
- F. 保証・借金肩代わり
- G. 事業資金の補填

【相談者のプロフィール】

※平成24年10月1日～平成25年9月30日まで



・多重債務を一言でいうと () 。

なぜなら () だからだ。

・自分自身が、多重債務に陥らないようにするためには () 。

(20 歳代、独身女性)

・新入社員で新しい生活をスタート。冷蔵庫などの家電製品やベッドなどをクレジットカードで買物。カードでの買物に慣れてしまい、英会話教室、エステなど返済能力を十分考えないままどんどん利用を増やしていき、カードのキャッシングも利用。気がついたときには多重債務の状況に陥っていた。

(30 歳代、一人暮らしの独身男性)

・手取収入約 20 万円・支出 18 万円で収支の差は約 2 万円。卒業後に就職できずフリーター生活が続く。生活費不足を補うためカードを利用、借入残高が増え、自転車操業状態に陥った。債務額は 5 社約 140 万円で、他に税金の滞納もあった。

(20 歳代、男性)

・当初、返せると思って借りていたお金だったが事故や家族の病気が重なり返せなくなっていた。ともかく貸してくれるところということで、高利な借入れに次々と手を出し、借金が雪だるま式に膨らんでいった。

(50 歳代、男性)

・族はパート勤めを始めた妻、19 歳の浪人生、17 歳の高 2、8 歳の小 2 の子供の 5 人。借金のきっかけは生活費を借りた事。昨春から給与 2 割減になり更に苦しくなった。家賃を除き手取り収入は 17 万円。車など他のローンはない。

(30 歳代、男性)

・ホテル内のバーで夜間勤務する中で、パチンコで憂さ晴らしをする習慣ができ、結婚の際には消費者金融 1 社に 60 万円余りの借金があった。しかし、新妻には打ち明けかね放置していたところ、督促状が自宅に届いて、双方の実家を巻き込む騒ぎとなった。

(40 歳代、男性)

・いまは「起業の時代」と友達に説き伏せられ、彼の事業の連帯保証人になってしまった。絶対迷惑はかけないからという話だったのに、事業に失敗、本人は夜逃げ同然で行方がわからなくなり、残った借金の返済請求を受けてしまった。こうした事態は予想もしておらず、自分自身、借金を重ねることになった。

(40 歳代、男性)

・同居の家族はパート勤めの妻と子供 2 人。月収は約 31 万円、支出は約 29 万円である。1 年半ほど前からクレジットカードで飲食や買い物を繰り返して、リボ払いで返済していたが、延滞が重なった。夫は、不満があると会社を辞め、それから程なく新しい就職先が決まったが、研修期間中に職場で怪我をして救急搬送され、休職することになってしまった。

(60 歳代、男性)

・仕事上の失敗を補填するために借り始め、家族の医療費も嵩んで生活費補填のための借入れを重ね、長い間ギリギリの生活をしてきた。定年後も年金とパートの仕事 4 つの収入でなんとか生活していたが、3 つのパートの仕事を解雇されたため収入は激減した。借金の返済のため、年金担保による借入れもしたが、減った年金収入と 1 つのパートの収入では生活ができなくなった。

(40 歳代の共働き夫婦)

・家族構成は、小学生と中学生の子供との 1 人家族。夫は営業職会社員、妻は介護ヘルパー。収入は夫婦合わせて 40 万円余り。家計簿を見ると月 10 万円の住宅ローンと、月 8 万円の食費が家計を圧迫していた。家計は自転車操業状態である。

(80 歳代、女性)

・「便利でお得です。」と言われて切り替えた信販会社への支払いがリボ払いで、返済しても返済しても元金が減らず赤字状態。